

WEB INFORMATION

ホームページのご案内

株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

ホームページアドレス <http://www.adeka.co.jp>



トップページ



IRページ

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4401

いいかぶ

検索

空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する[e-株主リサーチ]サービスにより実施いたします(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)。ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ [e-株主リサーチ事務局] TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL: info@e-kabunushi.com

株式会社 **ADEKA**

〒116-8554 東京都荒川区東尾久七丁目2番35号
TEL. 03-4455-2801

152nd

第152期 決算のご報告

2013年4月1日~2014年3月31日

CONTENTS

連結財務ハイライト

株主の皆様へ

報告セグメント別概況

中期経営計画[STEP 3000]の進捗

連結財務諸表

個別財務諸表

株式の状況

会社の概要

ネットワーク

BUSINESS REPORT



株式会社 **ADEKA**
(証券コード 4401)

ブラジル サンパウロ市 マルジナル・ピニエイロス通り
ブラジルに南米地域の自動車産業、エレクトロニクス産業向けの樹脂添加剤等の販売拠点とすべく、現地法人ADEKA BRASIL LTDA.を設立し、同社は2013年4月から営業を開始しました。

連結財務ハイライト



株主の皆様へ

To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
 当社グループの第152期(2013年4月1日から2014年3月31日まで)の事業概況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長
郡 昭夫



世界経済は、新興国で成長鈍化があったものの、米国では緩やかな回復が続き、欧州では持ち直しの兆しが見られました。国内では、原材料価格及びエネルギーコストの上昇が続きましたが、経済政策や金融緩和への期待感から、円安・株高が進行し、企業収益の改善や個人消費の増加が見られるなど、緩やかな回復基調が持続しました。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画「STEP 3000」をもとに事業領域の拡大・強化を図るべく、ブラジル現地法人や台湾現地法人台北事務所の業務開始、中国でのプラスチック用酸化防止剤及び、アラブ首長国連邦でのポリオレフィン用ワンパック顆粒添加剤の生産設備の増強、マレーシアでは加工油脂工場建設を推進するなど、海外投資を戦略的に推し進めました。

当期の業績につきましては、売上高は2,043億50百万円(前期比10.5%増)となり、過去最高を達成いたしました。営業利益は138億11百万円(同40.1%増)、経常利益は159億59百万円(同40.9%増)、当期純利益は91億52百万円(同20.2%増)となりました。

●2014年度通期見通し

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期見通し	2,200億円	142億円	150億円	100億円
前期比増減率	7.7%増	2.8%増	6.0%減	9.3%増

年間配当金につきましては、当初予定どおりの1株につき22円(中間配当金11円、期末配当金11円)とさせていただきます。

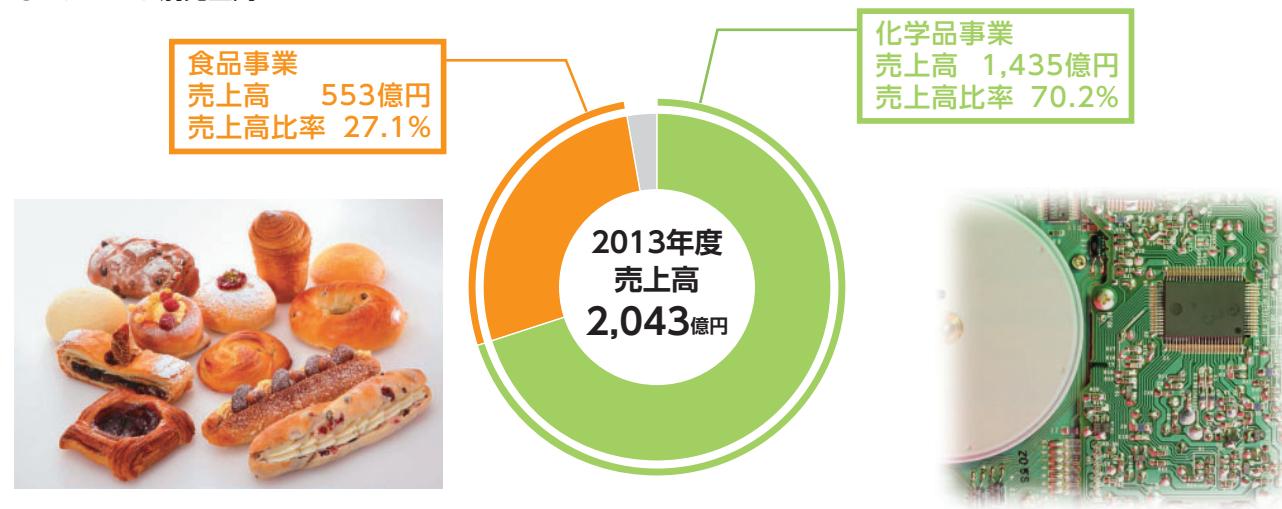
2014年度は中期経営計画(2012年度から2014年度の3ヶ年計画)の最終年度であり、創立100周年にあたる2016年度のありたい姿として策定した中長期的な経営ビジョン「売上高3,000億円のグッドカンパニー」実現に向けた重要な年となります。中期経営計画「STEP 3000」の5つの方針である「海外」「技術」「価値創造」「投資」「人財」を柱に、事業領域の拡大・強化に向け取り組んでまいります。また、2014年度は「世界へ翔く成長戦略 実現させよう STEP3000」を当社グループの標語とし、これまで取り組んできた「新製品の創出」「海外事業の拡大」「選択と集中」などの成長戦略のもと、国内市場に留まらず海外12の国と地域における22社との連携を強化しながら海外市場で収益を拡大してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒今後も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年6月

報告セグメント別概況

●セグメント別売上高



●主要製品

事業	主要製品
化学品事業	
情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光記録材料、画像材料、その他
機能化学品	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品材料、その他
基礎化学品	プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、工業用油脂誘導品、水膨張性シール材、その他
食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、ホイップクリーム、濃縮乳タイプクリーム、フィリング類、冷凍パイ生地、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他
その他の事業	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他



当事業の売上高は、1,435億16百万円(前期比14.0%増)、営業利益は108億22百万円(同46.8%増)となりました。

① 情報・電子化学品

半導体材料は、スマートフォンなどモバイル端末の需要拡大に伴い、半導体メモリに使われる高誘電材料を中心に期を通じて堅調に推移しました。プリント基板用のエッチング薬剤は、国内需要の減少などにより低調でした。光学フィルムやフォトレジストに使用される感光性材料は、海外を中心に競争力の高い独自製品が伸長しました。情報・電子化学品全体では、前期に比べ増収増益となりました。

② 機能化学品

樹脂添加剤は、国内及び北米をはじめとした自動車生産の回復に伴い、造核剤や光安定剤など高機能添加剤を中心に好調に推移したほか、難燃剤が家電製品向けなどに伸長しました。界面活性剤は、国内外において化粧品材料と塗料用添加剤が伸長しました。潤滑油添加剤は、自動車のエンジンオイル用添加剤の省燃費性が評価され、海外を中心に大きく伸長しました。機能性樹脂は、水系ウレタンが堅調でしたが、国内需要の低迷により総じて低調でした。機能化学品全体では、前期に比べ増収増益となりました。

③ 基礎化学品

プロピレングリコール類や過酸化水素及びその誘導品などは、原材料及び燃料の大幅な価格上昇を受けて価格改定とコスト削減を実施しましたが、需要低迷の影響を受けました。基礎化学品全体では、前期に比べ増収でしたが、営業損失となりました。



当事業の売上高は、553億79百万円(前期比3.4%増)、営業利益は23億99百万円(同24.2%増)となりました。

円安による原材料価格の上昇と、安心・安全へのこだわりなど厳しい事業環境のなか、継続的なコスト削減に加え、製パン・製菓や洋菓子向けの高機能マーガリン類(アロマーデシリーズ、オリンピックアシリーズ)や、口溶け良好なホイップクリームなどの増販に努めました。食品事業全体では、前期に比べ増収増益となりました。



中期経営計画「STEP 3000」の進捗

当社グループは本中期経営計画期間を、中長期ビジョン「2016年度売上高3,000億円のグッドカンパニー」を実現するための「確固たる手段を打つ飛躍の時期」と位置付け、中期経営計画「STEP3000」に基づいた事業領域の拡大と強化を推進しています。

中長期ビジョン実現に向けた3つの基本戦略

- **コア事業を中心とした規模拡大**
 - ・2つのコア事業（樹脂添加剤事業、食品事業）を中心に更なる規模拡大を図る。
- **第3のコア事業の育成（情報・電子化学品事業）**
 - ・成長事業に位置付けている情報・電子化学品事業を第3のコア事業に成長させる。
- **M&Aなどによる新規事業の育成や業容・領域の拡大**
 - ・M&A・アライアンスを重要な経営手段として位置付け、新規事業の育成や業容・領域の拡大を実施。
 - ・新規事業分野「ライフサイエンス」「環境・エネルギー」に注力する。

STEP3000 5つの方針



コア事業拡大への取り組み（樹脂添加剤事業）

樹脂添加剤事業では、海外11の国と地域14社で事業展開し、グローバル競争力の強化を図ってまいりました。

【ブラジル】

2013年4月1日に営業開始したADEKA BRASIL LTDA.において、自動車産業、家電などのエレクトロニクス産業などをターゲットに、樹脂添加剤を主とした当社グループ製品の一層の販売拡大及び、新たなビジネスチャンス発掘のための市場調査に取り組んでおります。



ADEKA BRASIL LTDA.オープニングセレモニー

【中国】

2013年7月には、中国の艾迪科精細化工（常熟）有限公司において、新興国を中心に今後も大きな伸長が見込まれる、プラスチック用添加剤（高機能酸化防止剤）の生産設備が完成し、営業運転を開始しております。



艾迪科精細化工（常熟）有限公司

【中東】

2013年11月に、アラブ首長国連邦のADEKA Al Ghurair Additives LLCにて、ポリオレフィン用ワンパック顆粒添加剤の生産設備の増設に着手いたしました（2014年6月営業運転開始予定）。同社で製造するワンパック顆粒添加剤は、中東地域におけるポリオレフィン樹脂用添加剤の主流であります。同地域は、世界最大級のポリオレフィン樹脂生産地域として、今後もさらなる成長が見込まれる重要な市場であり、消費量は大幅に増加すると見込まれております。需要増に応えるべく生産体制を強化してまいります。



ADEKA Al Ghurair Additives LLC

コア事業拡大への取り組み（食品事業）

バター風味豊かなマーガリン「アロマーデ」シリーズ等の高機能製品の増販に努め、国内基盤強化を図るとともに、伸長著しい中国・東南アジア市場において事業展開を強化してまいりました。

●海外事業展開の加速

マレーシアでは、2012年11月に設立したADEKA FOODS (ASIA) SDN.BHD.において、マーガリン、ショートニング等の業務用加工油脂工場の建設を推進しております（2014年7月竣工予定）。

●食品新製品の上市

2014年度RISU BRAND新製品の共通テーマは『カチコン～価値への貢献～』。「カチ」は「価値」や「勝ち」、「コン」は「contribute(貢献する)」や「conscious(体現)」を意味する造語です。

RISU BRANDは製品の機能やおいしさで、新商品の価値の体現に貢献し、加工食品市場の活性化に繋がることを目指してまいります。

◆マルシェブルターニュガトー

高品質なブルターニュ産バターを贅沢に配合し、香料に頼らずバターに遜色のない風味を実現したポンド製品です。

焼き菓みに自然で豊かなバター風味をもたらし、しっとりとした食感が持続します。

◆リキッドアルファ

パンの食感と風味を改善する機能性リキッド。

パン生地に配合することで歯切れや口溶けなどの食感を改善し、パン生地に旨味を付与します。

さらに生地の伸展性を改善し品質の安定性につながります。

◆セイボリーシート（ピザ風味）

トマトベースに香辛料を加えたピザ風味のフィリングシート。

従来のフィリングシートに比べ、低糖でありながら従来品並みの日持ちを実現しました。

◆メディアBS（プレーンマヨ／明太マヨ）

製パン用焼き残りソース。

加熱耐性に優れ、トッピングだけでなく生地に塗布して巻き込んでもホイロや焼成時に流出しません。

また、混合耐性にも優れ、塩気の強いものと混合しても分離しづらいため、様々な具材と混合することによりオリジナリティーのあるフィリングとして包餡することもできます。冷凍耐性もあり冷凍生地にも使用可能です。



「マルシェブルターニュガトー」を使用した焼き菓子の応用例



「セイボリーシート（ピザ風味）」を使用したパンの応用例



「メディアBSシリーズ」を使用したパンの応用例

成長事業拡大への取り組み（情報・電子化学品事業）

【新規添加剤の開発】

TSV（Through Silicon Via,シリコン貫通電極）形成用銅めっきに用いる新規添加剤を開発しました。TSV用の銅めっき材料は、2017年以降には約100億円の市場性が見込まれております。この新たな添加剤システムの展開により、シェアの向上を目指してまいります。

【高誘電材料生産体制の強化】

韓国ADEKA KOREA CORP.では、半導体向け高誘電材料生産体制の強化を推進するとともに、R&D（研究開発）センターでの次世代成膜材料の開発など、事業領域の拡大に努めております。



ADEKA KOREA CORP.

新規事業の育成

当社グループでは、新規事業分野として「ライフサイエンス」と「環境・エネルギー」に注力しています。そのうち、「ライフサイエンス」の注目製品をご紹介します。

【ベータグルカン】

大麦由来の「大麦ベータグルカン」は、サプリメントなどの健康食品分野に、黒酵母由来の「発酵ベータグルカン」は、香粧品分野、ヘアケア、さらにはメディカル分野（創傷修復）など、用途拡大を進めております。

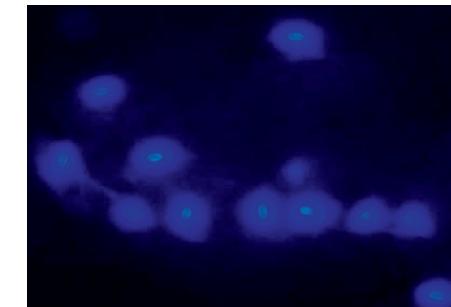
また、「発酵ベータグルカン」が、カンジダ菌による全身感染やメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）の腸管感染に対し、感染予防機能を持つ可能性があるとの研究成果を得ました。新たな機能が見出されたことを契機に、医療機関や介護事業者などへのアプローチを図り、病院食や介護補助食品などへの展開を検討してまいります。

大麦ベータグルカン由来



※写真の大麦はイメージです

発酵ベータグルカン由来



写真内で粒状に見える黒酵母菌の周りにある青いものがベータグルカン

■ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2014.3.31現在)	前期 (2013.3.31現在)	前期比増減
(資産の部)			
① 流動資産	126,604	116,293	10,311
固定資産	116,137	106,311	9,826
② 有形固定資産	73,826	71,983	1,842
無形固定資産	3,649	3,471	178
③ 投資その他の資産	38,661	30,856	7,804
資産合計	242,741	222,604	20,137
(負債の部)			
④ 流動負債	62,407	55,099	7,308
⑤ 固定負債	32,535	30,277	2,258
負債合計	94,943	85,376	9,567
(純資産の部)			
株主資本	135,038	128,260	6,777
資本金	22,899	22,899	-
資本剰余金	19,925	19,925	-
利益剰余金	92,438	85,660	6,778
自己株式	△225	△224	△0
その他の包括利益累計額	7,431	4,819	2,611
その他有価証券評価差額金	3,050	1,868	1,181
土地再評価差額金	3,794	3,697	97
為替換算調整勘定	2,441	△746	3,187
退職給付に関する調整累計額	△1,854	-	△1,854
少数株主持分	5,328	4,147	1,180
純資産合計	147,798	137,227	10,570
負債・純資産合計	242,741	222,604	20,137

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 146,893百万円
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

① 流動資産の増減額 現金及び預金の増加 が主な要因です。	10,311百万円 9,181百万円	④ 流動負債の増減額 短期借入金の増加 1年内返済予定の長期借入金の増加 が主な要因です。	7,308百万円 2,739百万円 2,173百万円
② 有形固定資産の増減額 建物及び構築物の増加 が主な要因です。	1,842百万円 1,202百万円	⑤ 固定負債の増減額 長期借入金の減少 退職給付に係る負債の増加 が主な要因です。	2,258百万円 △1,185百万円 3,387百万円
③ 投資その他の資産の増減額 投資有価証券の増加 繰延税金資産の増加 が主な要因です。	7,804百万円 5,131百万円 1,776百万円		

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2013.4.1~ 2014.3.31)	前期 (2012.4.1~ 2013.3.31)	前期比増減
売上高	204,350	184,885	19,465
⑥ 営業利益	13,811	9,855	3,955
⑥ 経常利益	15,959	11,324	4,635
税金等調整前当期純利益	12,724	10,788	1,936
当期純利益	9,152	7,616	1,535

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2013.4.1~2014.3.31)	前期 (2012.4.1~2013.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,696	14,445
⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,519	△11,903
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,074	173
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,356	739
現金及び現金同等物の増減額	9,459	3,455
現金及び現金同等物期首残高	29,210	25,755
現金及び現金同等物期末残高	38,670	29,210

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結株主資本等変動計算書 (要旨)

(単位:百万円)

当事業年度 (2013年4月1日から 2014年3月31日まで)	株 主 資 本				その他の包括利益累計額						少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整額	その他の包括利益 累計額合計		
2013年4月1日残高	22,899	19,925	85,660	△224	128,260	1,868	3,697	△746	-	4,819	4,147	137,227
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当			△2,276		△2,276							△2,276
当期純利益			9,152		9,152							9,152
土地再評価差額金の取崩			△97		△97							△97
自己株式の取得				△0	△0							△0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						1,181	97	3,187	△1,854	2,611	1,180	3,792
連結会計年度中の変動額合計	-	-	6,778	△0	6,777	1,181	97	3,187	△1,854	2,611	1,180	10,570
2014年3月31日残高	22,899	19,925	92,438	△225	135,038	3,050	3,794	2,441	△1,854	7,431	5,328	147,798

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

⑥ 売上高営業利益率 6.8% (前連結会計年度 5.3%)
売上高経常利益率 7.8% (前連結会計年度 6.1%)

⑦ 投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳
有形固定資産の取得による支出 △10,881百万円
フリー・キャッシュ・フロー
9,177百万円(前連結会計年度 2,542百万円)
※営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動による
キャッシュ・フローを差し引いた金額

個別財務諸表

単 独

■貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2014.3.31現在)	前 期 (2013.3.31現在)	前期比増減
(資産の部)			
流動資産	81,624	81,531	92
固定資産	93,163	89,767	3,395
① 有形固定資産	55,219	57,311	△2,092
無形固定資産	2,571	2,437	133
② 投資その他の資産	35,372	30,018	5,354
資産合計	174,787	171,299	3,488
(負債の部)			
流動負債	35,352	33,765	1,587
固定負債	21,865	23,376	△1,511
負債合計	57,217	57,141	75
(純資産の部)			
株主資本	110,987	108,767	2,220
資本金	22,899	22,899	-
資本剰余金	19,925	19,925	-
利益剰余金	68,331	66,109	2,221
自己株式	△168	△167	△0
評価・換算差額等	6,582	5,390	1,191
その他有価証券評価差額金	2,787	1,693	1,093
土地再評価差額金	3,794	3,697	97
純資産合計	117,569	114,157	3,412
負債・純資産合計	174,787	171,299	3,488

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 123,296百万円
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■株主資本等変動計算書(要旨)

(単位:百万円)

当事業年度 (2013年4月1日から 2014年3月31日まで)	株 主 資 本				株主資本 合 計	評価・換算差額等			純資産 合 計
	資本金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式		その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	
2013年4月1日残高	22,899	19,925	66,109	△167	108,767	1,693	3,697	5,390	114,157
事業年度中の変動額									
剰余金の配当			△2,276		△2,276				△2,276
当期純利益			4,595		4,595				4,595
自己株式の取得				△0	△0				△0
土地再評価差額金の取崩			△97		△97				△97
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						1,093	97	1,191	1,191
事業年度中の変動額合計	-	-	2,221	△0	2,220	1,093	97	1,191	3,412
2014年3月31日残高	22,899	19,925	68,331	△168	110,987	2,787	3,794	6,582	117,569

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2013.4.1~ 2014.3.31)	前 期 (2012.4.1~ 2013.3.31)	前期比増減
③ 売上高	117,100	113,341	3,758
④ 営業利益	7,783	6,171	1,612
⑤ 経常利益	9,331	7,413	1,917
税引前当期純利益	6,101	6,656	△554
当期純利益	4,595	4,747	△152

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

- ① 有形固定資産の増減額 △2,092百万円
機械及び装置の減少
が主な要因です。
- ② 投資その他の資産の増減額 5,354百万円
投資有価証券の増加
が主な要因です。
- ③ 売上高 3.3%の増収
化学品事業は4.8%の増収、食品事業は0.6%の増収
売上高輸出比率は、前期17.5%から1.6ポイント増加、19.1%
となりました。
- ④ 売上高営業利益率 6.6% (前期5.4%)
- ⑤ 売上高経常利益率 8.0% (前期6.5%)

株式の状況 (2014年3月31日現在)

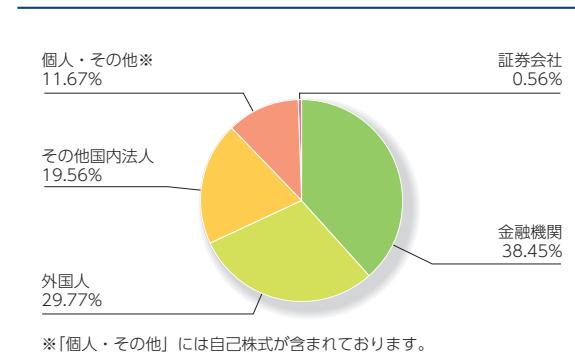
株式の状況

発行可能株式総数 400,000,000株

発行済株式総数 103,651,442株

当期末株主数 6,027名 (前期末比1,065名減)

所有者別株式分布状況



大株主(上位10名)

順位	株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
1	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,747	5.55
2	NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	4,618	4.46
3	朝日生命保険相互会社	4,053	3.92
4	みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	3,770	3.64
5	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,416	3.30
6	全国共済農業協同組合連合会	2,687	2.60
7	ADEKA取引先持株会	2,553	2.47
8	SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	2,424	2.34
9	農林中央金庫	2,244	2.17
10	日本ゼオン株式会社	1,881	1.82

(注)当社は自己株式173,218株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会・期末配当:3月31日
中間配当:9月30日

公告方法 電子公告。但し、やむを得ない事由によって電子
公告することができない場合、日本経済新聞に掲載します。

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及
び全国各支店で行っております。

(電話照会先)

株式事務手続きのお問い合わせ先

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

●証券会社の口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。

●特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
三井住友信託銀行株式会社(特別口座管理機関)にお申し出くだ
さい。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出くだ
さい。

会社の概要 (2014年3月31日現在)

会社の概要

設立	1917年1月27日
資本金	22,899,673,072円
従業員数	3,034名 (連結) 1,530名 (単独)

役員

代表取締役社長	郡 昭 夫
代表取締役 専務執行役員	世 良 田 博 史
取締役 常務執行役員	飯 尾 卓 美
取締役 常務執行役員	百 瀬 昭
取締役 執行役員	富 安 治 彦
取締役 執行役員	辻 本 光
取締役 執行役員	北 條 修 司
取締役 執行役員	矢 島 明 政
取締役 (社外)	永 井 和 之
常勤監査役	木 内 慎 一
常勤監査役	柴 田 良 平
監査役 (社外)	奥 山 章 雄
監査役 (社外)	竹 村 葉 子
監査役 (社外)	佐 藤 美 樹

執行役員 (取締役兼務者を除く)

上席執行役員	板 垣 和 雄
執行役員	北 森 一 孝
執行役員	幸 野 俊 則
執行役員	荒 田 亮 三
執行役員	林 義 人
執行役員	古 川 豊
執行役員	飛 田 悦 男
執行役員	石 尾 宏

連結子会社の状況

名 称	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
ADEKAケミカルサプライ(株)	104	98.04 (間接所有3.61)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
ADEKAクリーンエイド(株)	140	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
ADEKAファインフーズ(株)	50	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、魚介類を使用した加工製品の製造、販売
ADEKA総合設備(株)	130	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
AMFINE CHEMICAL CORP. [米国]	1,600万USドル	60.00	樹脂添加剤等の製造、販売
ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD.	800万Sドル	90.00	食用加工油脂、冷凍パイ生地及び関連食品の製造、販売
オキシラン化学(株)	600	50.00	エポキシ系可塑剤等の製造、販売
ADEKA食品販売(株)	42	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
ADEKA物流(株)	50	100.00	当社物流の総元請、倉庫業、車輛等のリース
長江化学股份有限公司[台湾]	3,000万NTドル	50.50	樹脂添加剤及び特殊可塑剤等の販売
(株)ヨンゴ	18	90.94	製菓・製パン業務用資材の卸売
ADEKA KOREA CORP.	150億ウォン	100.00	化学製品の製造、販売
ADEKA (ASIA) PTE.LTD. [シンガポール]	80万USドル	100.00	化学製品の販売
ADEKA Europe GmbH [ドイツ]	50万ユーロ	100.00	化学製品の販売
台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTドル	100.00	液晶パネル関連薬剤の製造、販売、化学製品の製造、販売
ADEKA PALMAROLE SAS [フランス]	300万ユーロ	90.00 (間接所有90.00)	樹脂添加剤の製造、販売
ADEKAライフクリエイト(株)	65	90.00 (間接所有10.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器職域販売、ビル・社宅等の管理運営
艾迪科(上海)貿易有限公司[中国]	100万USドル	100.00	化学製品及び原材料の販売
艾迪科精細化工(上海)有限公司[中国]	2,050万USドル	100.00	樹脂添加剤、機能性樹脂、電子材料等の製造、販売
艾迪科精細化工(常熟)有限公司[中国]	2,154万USドル	50.00	樹脂添加剤の製造、販売
上原食品工業(株)	70	100.00	フラワーペースト、餡類及びレトルト調理食品の製造、販売
ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO., LTD.	3億5,000万バーツ	81.00	化学製品の製造、販売
艾迪科食品(常熟)有限公司[中国]	1,500万USドル	70.00	食用油脂、油脂加工食品の製造、販売
AM STABILIZERS CORP. [米国]	850万USドル	60.00 (間接所有60.00)	樹脂添加剤の製造、販売

持分法適用関連会社の状況

名 称	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
日本農業(株)	10,939	24.20	農業等の製造、販売
(株)コープグリーン	80	46.88	石鹸、洗剤等の開発、販売

ネットワーク (2014年3月31日現在)

●事業所

本 社	東京都荒川区
大 阪 支 社	大阪市中央区
名古屋支店	名古屋市中村区
福岡支店	福岡市博多区
札幌営業所	札幌市中央区
仙台営業所	仙台市青葉区

●生産工場

鹿島工場	神栖市東和田
千葉工場	袖ヶ浦市北袖
三重工場	三重県員弁郡
富士工場	富士市富士岡
明石工場	兵庫県加古郡
相馬工場	相馬市光陽

●研究所

尾久中央開発研究所	東京都荒川区
浦和開発研究所	さいたま市南区
久喜開発研究所	埼玉県久喜市
関西開発室	大阪市中央区

●海外拠点

ADEKA Europe GmbH	ADEKA KOREA CORP.
ADEKA PALMAROLE SAS	ADEKA KOREA CORP.
ADEKA Al Ghurair Additives LLC	ADEKA KOREA CORP.
ADEKA INDIA PVT.LTD.	ADEKA KOREA CORP.
ADEKA FINE CHEMICAL(THAILAND) CO.,LTD.	ADEKA KOREA CORP.
ADEKA FOODS (ASIA) SDN. BHD.	ADEKA KOREA CORP.
ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD.	ADEKA KOREA CORP.
ADEKA (ASIA) PTE.LTD.	ADEKA KOREA CORP.
ADEKA CORP. TOKYO HEAD OFFICE	ADEKA CORP. TOKYO HEAD OFFICE
AMFINE CHEMICAL CORP.	AMFINE CHEMICAL CORP.
ADEKA USA CORP.	ADEKA USA CORP.
AM STABILIZERS CORP.	AM STABILIZERS CORP.
長江化学股份有限公司	長江化学股份有限公司
台湾艾迪科精密化学股份有限公司	台湾艾迪科精密化学股份有限公司
ADEKA BRASIL LTDA.	ADEKA BRASIL LTDA.
艾迪科(上海)貿易有限公司	艾迪科(上海)貿易有限公司
艾迪科精細化工(上海)有限公司	艾迪科精細化工(上海)有限公司
艾迪科精細化工(常熟)有限公司	艾迪科精細化工(常熟)有限公司
艾迪科食品(常熟)有限公司	艾迪科食品(常熟)有限公司
長連旭(上海)貿易有限公司	長連旭(上海)貿易有限公司
國都化工(昆山)有限公司	國都化工(昆山)有限公司